
窓辺

石塚

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

窓辺

【Nコード】

N2907D

【作者名】

石塚

【あらすじ】

僕は席替えをした。窓辺の一番後ろ、最後の座席が決まった。

パキ、パキ

僕は窓辺に座っている

窓辺の一番後ろ、高校生最後の座席がここに決まったときは本当にうれしかった。三年生になってから一度も席替えをしなかった担任が、熱心に頼んだ一部の生徒に負けて、一度限りの席替えをした時には、一瞬だけよい子になったのを覚えている

「おはよう……」

パキ、パキ

担任が肩を落としながら入ってきた

「みんなおはよう・・・・・・・・」

僕らはみんな、担任が元気が無いのを知っている、生徒が四人、行

方不明だからだ

「あいつらが無事に帰ってくることを願うしかない……みんなも願ってくれ……」

担任は僕をチラッと見た後、また頭を下げて教室を出ていった

パキ、パキ

窓から見える景色は絶景で、高い山に雲が掛かり、映画のワンシーンのようだ

「・・・・・・・・」

消えた四人は男子が二人で女子が二人、別段仲が良かったわけでは
ないけれど、クラスメイトが消えたのはいい気分がしないし・・

なにより四人は僕の前の席だからだ

パキ、パキ

窓辺の四人が前から消えている、後は僕一人だけだ、僕も消される
のだろうか

パキ、
パキ

僕は窓辺の席から景色を見ている

パキ、
パキ

僕を消す人間はきっとあいつ、僕がこの席に来る前にここに座って
いたあいつ

パキ、
パキ

あいつは美術部で、
あいつは写生が好きで

パキ、
パキ

あいつは僕を睨み付けている

あいつはまた、鉛筆を削っている

パキ、
パキ

僕は残りの時間、
もう少しこの窓辺を楽しもうと思う

E
N
D

（後書き）

初めまして（――；）時間を割いてくれた方、ありがとうございます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2907d/>

窓辺

2010年10月11日14時58分発行